

令和6年1月28日開催 犬山市議会 市民との意見交換会 ～皆さんのご意見とその回答～

たくさんのご参加、ご意見ありがとうございました。

犬山市議会は、「犬山市議会基本条例」に基づき、市民の皆さんのご意見を市政運営に反映させていくため、「市民との意見交換会」を開催いたしました。

第1部では、名古屋大学名誉教授 福和伸夫氏による「いつか来る！南海トラフ地震に備えて」と題した記念講演会、第2部では常任委員会ごとにテーマを設け、皆さんの声を直接伺う形で意見交換を行いました。

分科会でいただいたご意見の一部を紹介します。



総務委員会 これからの町内会 私の役割

出席委員：正鈴木伸太郎、副諏訪毅、光清毅、小川隆広、畑竜介

No	市民からの意見	総務委員会の見解
1	町内会の未加入者が増えて困っている。また、転入者へ案内をするが、入会してもらえない。市の方で町内会加入促進のメリット等の宣伝をやってもらえないか。	町内会へ入るメリットではなく、町内会へ入る意義を考えたアプローチが必要だと考えます。互助・共助の基礎としての町内会の意義を周知する方法について研究していきます。
2	町内会長が、防災において重要な役割を果たすが、初めての方が多い。誰が町内会長になっても困らないように、具体的なマニュアルを行政で作成してもらえないか。	市では町内会で防災活動を行う際には「自主防災組織」を設置して具体的に活動してもらうよう啓発を進めています。今後も更なる周知を進めることを提案していきます。
3	ごみ集積所の掃除は加入者が順番にやっているが、未加入者は掃除をしない。また、ルール違反のごみ出しについての話もできない。	地域の問題については、町内会に入っていて、コミュニケーションをとることが必要なので、引き続き町内会加入のPRをするよう市に働きかけます。
4	働き盛りの世代は必死に働いていて、町内会の活動に参加できず、世代交代が進まない。負担軽減策など、根本的な解決が必要ではないか。	町内会役員の負担を軽減するため、令和5年度から広報配布を業者委託されました。社会構造の変化に対応した解決策が必要です。また成功事例を参考にしながら改善策を研究していきます。
5	高齢者にはパソコンを使えない人が多い。デジタル化が進んで困っている。	一部地域でデジタル町内会の実証実験を行いました。またLINEグループを取り入れて負担軽減を試みた町内会もあります。デジタルデバイド（情報弱者）対策を考えながら世代交代のためデジタル化底上げの支援について研究していきます。

民生文教委員会 心の健康について考えよう！

出席委員：正久世高裕、副小川清美、ビアンキ恵子、増田修治、岡 覚、沼 靖子

No	市民からの意見	民生文教委員会の見解
1	木曽川の歩道や五条川のウォーキングトレイルの散策は心地よい。歩くことで心身をリフレッシュできる。駐車場やトイレが少ないので、散歩コース途中に整備されるとより快適に活動できる。	健康志向が高まるなか、ウォーキング途中で利用できるトイレの整備需要は増えていく可能性がありますので、今後は注視し、委員会としても必要に応じて当局に要望等をしたいと思います。
2	ボランティア活動やイベント参加を通じて、地域の人々と交流し、コミュニケーションをすることで心の豊かさを感じることができるが、コロナ禍で活動が減ってしまった。	未だインフルエンザやコロナの影響があるなか、多くのイベントが復活して来ています。そして逆にコロナ禍でコミュニケーションの大切さを実感した方が多いかと思います。一日も早くコロナ禍以前に戻ることを願っています。
3	ペットとのふれあいや音楽イベントの参加も心を豊かにするが、ペット同伴で入れる店舗が少ないことや、イベント開催場所の不足が課題。	ペット同伴店舗は、基本的に民間に期待するところですが、民間店舗に協力を呼びかけていきたいと思っています。また、公共のイベント場所については、今後の課題と捉えています。
4	美術館や文化施設を訪れ文化的な活動を楽しむことが心の健康に繋がる。現代美術を鑑賞できる施設や仲間が集まって活動・発表できる場所が不足している。空き家を活用してコミュニティスペースや喫茶店を開設するなど、地域の活性化に繋がる取組も考えてほしい。	芸術を楽しむ機会は重要です。また、空き家を上手く活用して地域の繋がりを深めることも大切です。委員会としても、文化発信、交流の場を設けられるよう提言していきます。
5	読書も心の健康に重要。図書館で本を借りることでもっと読もうという意欲が湧く。図書館の閉館時間が早いいため延ばしてほしい。高齢者がそこまで移動する手段の拡充してほしい。	図書館閉館時間について、当局と協議します。また、委員会としても移動手段の拡充は必要性を強く認識していました。令和6年度からタクシー助成制度が拡充されています。高齢者の移動手段の拡充については、引き続き努力していきます。

建設経済委員会 みんなで話そう みんなの公園

出席委員：正玉置幸哉、副丸山幸治、島田亜紀、岡村千里、柴山一生、大沢秀教

No	市民からの意見	建設経済委員会の見解
1	家族でお弁当を持って行けるような公園、日陰スペースや休憩場所が充実した公園がほしい。	家族で楽しめる公園などの整備が進むよう、議会としても引き続き議論していきます。
2	公園の清掃作業などは、市からの委託費で町内会が行っていたが、高齢化が進み、実施が困難になってきている。	令和5年度建設経済委員会での議論を受け、今後も町内会が地元の公園に愛着を持って維持管理していただけるよう、市からお支払いしている委託費が令和6年度から増額されます。
3	高齢者が増えているので、健康器具や背が伸ばせるベンチなど、住民の健康につながるような器具を公園に設置してほしい。	市が設置する公園の遊具の設置などに関するご意見は、町内会を通して市へ要望書を提出してください。
4	道の駅、屋内遊具施設を作る計画はどうなっているのか。中途半端なものは作らないでほしい。	令和6年度施政方針の中で、道の駅整備計画については白紙とし、屋内型キッズスペースを「ヨシツヤ犬山店」に整備することが示されました。市の主要施策であり、引き続き、議会としても注視していきます。
5	パークPFI（公園の整備を行う民間事業者を公募し、選定する制度）は、市の収入になるのか。	民間事業者が得た売り上げの一部を市の収入とする方法もあります。民間活力を導入した公園整備は市の総合計画にも明記されているため、適切に整備検討を進めていくよう、市に求めています。